

全身麻酔を伴う予定手術とワクチン接種の間隔について

手術前後にワクチン接種を行うことは、手術の日程や術後の経過等に影響を及ぼしかねないものです。安全に手術を施行するために、全身麻酔を伴う予定手術とワクチン接種の間隔に関する規定として以下の間隔を設けることとします。

【ワクチン接種から全身麻酔を伴う予定手術までの間隔】

- ・ 生ワクチン : 3週間(21日間)
- ・ 不活化ワクチン・トキソイド : 2日間
- ・ 組換えワクチン : 2日間

【全身麻酔を伴う予定手術からワクチン接種までの間隔】

- ・ ワクチンの種類にかかわらず、1週間

【間隔をあける理由】

- ・ 手術侵襲や全身麻酔によって免疫能は抑制されるため、ワクチンによる抗体産生期に免疫が抑制されると抗体産生が不十分になりワクチンの臨床効果が薄れる可能性がある。
- ・ ワクチンの副反応が起こりうる期間に手術や麻酔を行うことで、副反応の増強や生ワクチンによる感染症発症の可能性がある。

【補足】

- ◇ 局所麻酔(脊髄くも膜下麻酔、腰椎麻酔、硬膜外麻酔、伝達麻酔等)による手術は、上記から除外し、主治医判断とする。
- ◇ 緊急を要する手術は、上記から除外し、主治医判断とする。

引用文献

- ・ 公益社団法人日本麻酔科学会「周術期管理チームテキスト」(チャプター18 麻酔計画と麻酔の準備-予防接種の取り扱い)
- ・ 公益社団法人日本麻酔科学会「麻酔・手術を受ける患者さんへのワクチン接種の提言」

2026年5月25日

麻酔科医 小林なぎさ・薬剤部作成
医療安全管理委員会承認

全身麻酔を伴う予定手術とワクチン接種の間隔 一覧表

ワクチンの種類	ワクチン名	ワクチン接種から手術まで	手術からワクチン接種まで
生ワクチン	● BCG ● 麻疹・風疹混合(MR) ● 麻疹(はしか) ● 風疹 ● 水痘 ● 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) ● ロタウイルス:1 価、5 価 ● 黄熱 ● 带状疱疹:水痘ワクチン	3週間	1週間
不活化ワクチン トキソイド	● 百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・インフルエンザ菌 b 型混合(DPT-IPV-Hib) ● 百日咳・ジフテリア・破傷風混合(DPT) ● ジフテリア・破傷風混合・トキソイド(DT) ● ポリオ(IPV) ● 日本脳炎 ● 肺炎球菌 ● インフルエンザ菌 b 型 ● B 型肝炎 ● A 型肝炎 ● ヒトパピローマウイルス(HPV) ● インフルエンザ ● 破傷風トキソイド ● 成人用ジフテリアトキソイド ● 狂犬病 ● 髄膜炎菌	2日間	
組換えワクチン	● 新型コロナ ● 带状疱疹:シングリックス	2日間	

◇ 局所麻酔(脊髄くも膜下麻酔、腰椎麻酔、硬膜外麻酔、伝達麻酔等)による手術は、上記から除外し、主治医判断とする。

◇ 緊急を要する手術は、上記から除外し、主治医判断とする。

全身麻酔で手術を行う予定の患者さんへ

手術や全身麻酔により、一時的に免疫力が低下するため、ワクチンの効果が十分に得られないことがあります。また、接種後の副反応が強く出るなど、体への負担が大きくなる可能性があります。このため、手術とワクチン接種の間は、一定の期間をあけていただくことをおすすめしています。

ただし、緊急を要する場合や主治医の判断により対応が異なる場合があります。

ワクチンの種類	ワクチンの名称	ワクチン接種から手術まで	手術終了からワクチン接種まで
生ワクチン	● BCG ● 麻疹・風疹混合(MR) ● 麻疹(はしか) ● 風疹 ● 水痘 ● 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) ● ロタウイルス:1 価、5 価 ● 黄熱 ● 带状疱疹:水痘ワクチン	手術前 <u>3週間</u> 接種しない	手術後 <u>1週間</u> 接種しない
不活化ワクチン トキソイド	● 百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・インフルエンザ菌 b 型混合(DPT-IPV-Hib) ● 百日咳・ジフテリア・破傷風混合(DPT) ● ジフテリア・破傷風混合・トキソイド(DT) ● ポリオ(IPV) ● 日本脳炎 ● 肺炎球菌 ● インフルエンザ菌 b 型 ● B 型肝炎 ● A 型肝炎 ● ヒトパピローマウイルス(HPV) ● インフルエンザ ● 破傷風トキソイド ● 成人用ジフテリアトキソイド ● 狂犬病 ● 髄膜炎菌	手術前 <u>2日間</u> 接種しない	
組換えワクチン	● 新型コロナ ● 带状疱疹:シングリックス	手術前 <u>2日間</u> 接種しない	

不明な点がございましたら、薬剤部 までご連絡ください。